

町のあり方

職責上の町内視察をしたか

両者で機会を作りたい



議員 昭三 しょうぞう 矢野 やの

問 自動車道等建設に町行政は、地権者と国の間へ入り調整をするか問う。

答 大西町長

地域で問題等があれば調整に入っていくし、町を挙げて要望もしていく。

問 副町長は、合併後、町の中で一番遠隔地にある鈴、市野瀬で三カ月程宿泊し通勤したら、そこで生きる苦勞を理解できるのではないか。

答 大西町長

自治法167条に長の命を受けて、職員の担任する事務を監督するのが、副町長の役目。地域を熟知せよというのではあれば自分が佐賀地区に入らなければならぬ、両者で機会を作りたい。

若者定住対策

若者が生活できるか
経済的安定等を図る

問 若者が生活できる地方創生事業か。

答 武政総務課長

若者が希望どおり結婚し、子どもが持て、経済的安定を図り、子育ての負担軽減など、子ども・子育て支援策が取り上げられている。

福祉政策

独居の高齢者支援は
環境整備し
支援する

問 要支援、要介護等の見直しを問う。

答 宮川健康福祉課長

平成27年度から大幅に改正され、要支援1、2の方の通所介護、訪問介護が、介護給付の対象からはずれ地域支援事業へ移行される。

道路問題

自専道と56号の
連絡道を
今後検討する

問 地域の利便性と企業誘致の条件整備、佐賀地域の避難道として国道56号への連絡道が必要だと思う。また、大方向は道が悪いので、自専道のレベルバンク(残土処理場)を誘致し整備を図れないか。県道、市野々川から打井川

問 間、蜷川から三又間の整備も急がれるし、河川土砂の処理場も必要だと思うがどうか。

答 今西建設課長

地震災害の緊急輸送、住民の避難、定住条件、地域創生の観点から何らかの接続道が必要と考え、国交省と協議する。

また、レベルバンクについても全力で取り組む。

県道の整備も強く要望する。また、残土処理場の確保に向け対策を講じる。

その他の質問

※町有財産の管理について



佐賀地区を上空から望む